

<事業所全体による自己評価> R3.12.11実施

志免happiness

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過
職員の配置数や専門性は適切ですか	どちらともいえないがあった	・2人介助の利用児が多い。 ・男性職員がいないため、同性介護ができていない	人員の確保	・同性介護ができる適切な人員に努力する。	随時検討	(現在の対応) ・アルバイトの導入 ・法人内他事業所に応援要請 (経過) どちらともいえないが今年度末解消。臨時的な人員確保はできた。
利用児童の主治医と情報共有し、医療的ケアが十分に行えるよう配慮されていますか	わからないがあった	必要に応じて、保護者を通して受診時に主治医に確認して頂いている		・引き続き、必要に応じて保護者を通して受診時に主治医に確認する。 ・保護者に主治医と連携を取ることを事前にきちんともう一度説明する。	随時	(現在の対応) ・保護者を通じて、保護者を通して連携を行っている (経過) 「わからない」が今年度解消。保護者に伝えられた。
13: 定期的にお便りやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を利用児童や保護者に対して発信していますか 15: いちばん星志免で策定している緊急時対応マニュアル・災害マニュアル等に沿った訓練が行われていますか	どちらともいえないがあった	・月に一度療育予定表を配布し、避難訓練をすることを事前にお知らせしている。 ・避難訓練を、予告・実施はしているが利用保護者全員の理解を得ていない可能性がある。		・お便り等の充実を図り、お知らせする	随時	お便りの充実に至らなかった。インスタグラムを活用することで今後も引き続き、保護者への周知を進めていきたい。